



3学期スタート 本年もよろしくお祈りします

3学期始業式 校長先生のお話（抜粋）

全校生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。厳しい寒さが続いた2週間あまりの冬休みもあっという間に終わり、本日より48日間の3学期が始まります。

今年の干支は「へび（巳）」。皆さんは「へび」にどのような印象を持つでしょうか？

正直なところ、「へび」に対して良い印象や好意的な感情を持っている人は少なく、むしろ「苦手」、「気持ち悪い」、「大嫌い」という人が多いのだと思います。実は、この「へびが怖い、嫌い」という感覚は、人類の本能であるという研究結果が発表されています。それは私たちのご先祖が木の上で生活していた数千万年前のこと。安全なはずの木の上まで登ってきて、我々のご先祖の命を奪ってきたのがへび。だから、命を守るため、ご先祖はへびをすばやく見つける必要がありました。そこで脳内でへびに敏感に反応する領域が発達し、すぐに恐怖を感じ対応できるよう進化した、そしてその名残が今でも残っている、というわけなのです。ですから、へびが怖い・苦手というのは人類にとってある意味当たり前感覚と言えるのです。でも、そんなへびが「干支」として使われたり、様々な場所でその存在が活用したりされている、という事実がなんとも不思議です。今回はそんなへびにまつわることを3つ紹介します。

一つ目、私が「へび」で真っ先に思い出すものはこれなんです。とある国際機関のマークなのですが、分かる人いますか？数年前、突如世界中を混乱に新型コロナウイルス。この時世界の最前線でコロナに対応したのがWHO（世界保健機構）です。WHO事務局長が記者会見をするこんな映像をくどいぐらい何度も目にしたことと思います。その起源は古代ギリシャ神話からで、医学と癒やしの神アスクレピオスが持っていた杖に蛇が絡みついていてことから、蛇のついた杖は、医療や再生、生命力の象徴とされてきました。このことから「へびと杖」が図案化されたわけです。

次はこのマーク。一気に身近な存在になります。ご存知の方いますか？皆さんも知っている高校の校章です。これは松商学園高等学校の校章。実はこれもギリシャ神話。商業の神「ヘルメス」の杖にやはり蛇が絡みついていて。杖に巻き付くへびは「知恵」の象徴とされていきました。「松商学園高校」の前身である「松本商業高校」は商業を学ぶための学校でしたから、明治44年にこの校章が作られたということです。

そして三つめは、我が筑北村のお話。皆さんは差切峡の大蛇伝説のことを知っていますか？実は私も今年の1月1日、市民タイムスを読んで初めて知りました。

龍王権現の由来記（村史「さかきた」438P 宮入しげ子家所有の文書による）

200数十年も昔のこと。降り続く長雨で、修那羅にあった大きな池が崩れた際、主（ぬし）の大蛇（全長約6m以上）も流されて、差切峡の「ドの淵（ぶち）」に住み着いた。

ドの淵は水鳥を狙う狩人が集まる場所だったが、それ以来いざ撃とうとすると、この大蛇が頭を出して鳥を逃がしてしまう。ある日、一羽も捕れなかった狩人が腹を立て、大蛇の頭を撃ち抜き殺してしまった。（狩人も帰宅後間もなく病死）

すると次の夏から、ぶちの周辺から無数の小さな蛇が現れ、人々を襲うようになり、誰も寄りつかなくなった。すると、近くに住んでいた生津迦（しょうづか）様という仙人が「この土地は恐ろしい蛇に呪われている。普通の祟りではないため自分の術でも祓えるかどうか…」と祈禱を重ね、大蛇の霊を吊った後、洞穴に蛇を龍王大権現として祭ったところ、無数の蛇の姿は跡形もなく消え、人々は大変喜んだという。



こうやって見てみると、蛇は人類にとって遺伝子レベル、本能レベルで苦手な存在であっても、「医療や癒し」の象徴として、または「商業」や「知恵」の象徴として、更には干支として、差切峡の大蛇のように「神様」として、世界中で大切にされ、親しまれている、という姿が見えてきます。

このように「恐れつつ」も「敬う」という感情を「畏敬の念」といいます。私は「巳年」の今年、こうやって「へび」に対する人間の扱いを見てみると、「畏敬の念」という言葉が頭に浮かんできました。「畏敬の念」をもう少し詳しく説明すると…

『人や物事に対して深い敬意と畏怖の感情を抱くことを指す表現である。この感情は、その人や物事が持つ力や能力、成果などに対する尊敬や、その存在の偉大さや神聖さに対する恐怖から生じる。』とあります。

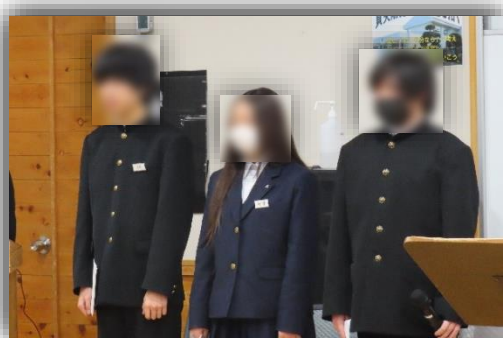
畏敬の念を持ち深めることは、人間関係や社会生活において、他者を尊重し、敬う態度を形成する基盤となります。今日は年の初めに当たって、「畏敬の念」というキーワードを紹介しました。ぜひ心に留めていただければ有難いです。

新しい年「令和7年」が始まりました。新しい年を迎えて、昨年度の反省をもとに今年の新たな目標を持ったことと思います。へびは脱皮をして成長していくことから「変容」や「再生」の象徴とも言われています。私たちは成長し、脱皮し新しい自分になれる。もっと能力を伸ばすことができます。もっともっと良い性格になることもできます。自分は成長できる、やればできる!と信じ、目標を達成すべく、今日をスタートにみんなて努力していきましょう。



3学期の目標 生徒代表の発表より

始業式では、代表生徒が3学期の決意を発表しました。1年生は「来年は新生が入ってくるので、先輩らしい姿を見せるために、生活面もがんばりたい。」と、先輩になるための姿勢について、2年生は、「部活動では夏の大会において、練習に集中したい。学習面では、苦手な部分を克服したい。」と、部活動、学習に向かう心構えについて語ってくれました。3年生は、「進路実現に向けて、粘り強く学習に取り組みたい。卒業に向けて1日1日を大切にしたい。」と、卒業を目前とした思いを発表してくれました。



やしょうまパン2025発売中!!



毎年大好評のやしょうまパンが発売されました。あすまやタイムの郷土食グループの生徒たちがアイデアを考え、「ちくほっくる」さんで商品化されました。1月いっぱい販売されるようです。今年の干支は「巳」ということで、どんなデザインになるのか楽しみにしていましたが、とても愛らしい素敵なパンになりました。やしょうまとデニッシュ生地がよく合う新感覚のパンです。ぜひ、食べてみてください。



〇〇〇受賞おめでとうございます〇〇〇

- ・中学生日本管打楽器ソロコンテスト 金賞(埼玉県教育賞) 3学年 さん
- ・信濃毎日新聞 俳句コンクール 最優秀賞 3学年 さん

信濃毎日新聞 俳句コンクール 最優秀賞 さん

こんにゃくが 宙をとびかう きもだめし